# スターツ出版文庫 新刊5点 10月28日(火)全国書店にて発売開始

小説投稿サイト「野いちご」「Berry's Cafe」「ノベマ!」を運営するスターツ出版株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:菊地修一)は「スターツ出版文庫」の新刊を、10月28日(火)より全国書店にて発売開始いたします。

■作品情報 <a href="https://novema.jp/bookstore/starts/202510">https://novema.jp/bookstore/starts/202510</a> ■『ノベマ!』<a href="https://novema.jp/bookstore/starts/202510">https://novema.jp/bookstore/starts/202510</a>

■『野いちご』<a href="https://www.no-ichigo.jp/">https://www.no-ichigo.jp/</a> ■『Berry's Cafe』<a href="https://www.berrys-cafe.jp/">https://www.berrys-cafe.jp/</a>



### 『運命の花嫁~4つのシンデレラ物語~』

著者: クレハ、香月文香、中小路かほ、陽七 葵

イラストレーター: 白谷ゆう

価格: 税込792円(本体720円+税10%)

ISBN: 978-4-8137-1821-5

#### 【あらすじ】

不遇な少女が運命の愛を知る4つのシンデレラ物語――。

#### 【収録作品】

「蛇神様は運命と出会う」クレハ

「月禍の娘は夜に歩く〜虐げられた巫女が幸福な花嫁になるまで〜」香月文香「双子の姉に夫を寝取られたので、私は神鬼の嫁になります。」陽七 葵 「呪血の花嫁〜妹に虐げられた姉の契約結婚〜」中小路かほ

### 『後宮のガリレオ』

著者:野月よひら

イラストレーター:藤実なんな

税込869円(本体790円+税10%) ISBN:978-4-8137-1822-2

【あらすじ】 平穏を何より望むマイペース女官・麗麗。実は彼女には、ガリレオを心から尊敬し、科学に熱狂する理系大学院生だった前世の記憶がある。そんな科学オタクの麗麗は、ある日、"死んだ女官の呪いで首が絞められる"という噂に、「それ、ただの自然現象ですよ」とうっかり口にしてしまう。すると、美貌の宦官・冥焔に「呪いでないなら証明してみせろ」と命じられ……。気ままな女官生活を送りたいのに、常識では説明できない怪異や呪いだからこそ、つい科学的に証明したくなる。そんな性分から、呪いの真相を次々と解決していき——!?





## 『都合の良い妹は終わりにします ~軍神さまと幸せな結婚~』

著者:湊祥

イラストレーター: 欧坂ハル

価格:税込792円(本体720円+税10%)

ISBN: 978-4-8137-1823-9

【あらすじ】 祓い屋の名家に養女として引き取られた紗映には呪いを吸収する能力があり、長女の瑠璃子に都合よく扱われ虐げられていた。ある日、番を探しに訪れた軍神・御影に「みつけた、君だ」と見初められる。何かの間違いだと困惑する紗映だったが、闇夜のように美しい黒髪の御影から注がれる愛情に自分の居場所を見つけ始める。しかし、御影のために自分の能力を活かし支えとなっていた紗映のもとに姉・瑠璃子が再び現れ…。「命をかけて守り、愛し抜く」都合よく扱われてきた妹が最強の軍神のもと、本当の愛を知るまで――。



#### ◆アンチブルー

## 『最高な恋リアの作り方 #誰にでもヒミツはある』

著者:音はつき

イラストレーター: chikame

価格: 税込803円(本体730円+税10%)

ISBN: 978-4-8137-1824-6

【あらすじ】大人気恋愛リアリティーショー番組『誰にでもヒミツはある』のシーズンXに参加した好感度抜群で多くの支持を集める10人の出演者。 視聴者からの人気投票を勝ち抜き"最高のカップル"となるため、それぞれの思惑が動き出した最中、事件は起きる。 ある出演者の重大なヒミツがSNS上で暴露されたのだ。 途端に好感度が落ち、脱落してしまうことに。 続々と暴露されていく参加者たちのヒミツと、崩れていく好感度。 隠し通してきた嘘が明るみになった先に、何が残るのか。 恋リア×アンチ青春ストーリー!

#### ◆アンチブルー

# 『自殺カタログ』

著者:西羽咲花月

価格: 税込825円(本体750円+税10%)

ISBN: 978-4-8137-1825-3

【あらすじ】どんな"自殺"も叶える禁断のカタログ【自殺カタログ】。主人公・芽衣は苛烈ないじめに追い詰められ、自ら命を絶とうとした。その瞬間、謎の男からあるカタログを渡される。書かれていたのは数え切れないほどの死に方。だが彼女は気づいてしまう――この本を使えば「自殺に見せかけて人を殺せる」と。復讐にのめり込み、次々と標的を追い詰める芽衣。だがページをめくるたびに、彼女の運命はカタログに書き換えられていく。最後に待つのは、復讐ゲームの結末か、それともカタログに潜む真実か――。

